

癌の駆け込み寺 (難病平癒の祈願寺 多くの方が救われています。)

毎日午前10時よりお加持受付
毎月第一日曜日正午より勤行、法話
毎年正月・五月・九月十八日正午より読経、法話

高野山 真言宗 金鶏山真成院

江戸三十三観音 第三十八番札所
御府内八十八ヶ所 第三十九番札所
関東九十九ヶ所 第十三番札所
お薬師霊場

本尊 潮千十一面観世音菩薩

堂宇 天保八年再建 昭和四十七年復興
復興の折、四谷霊廟を併設

◎『観音開運法』織田隆弘(真成院前任職)著

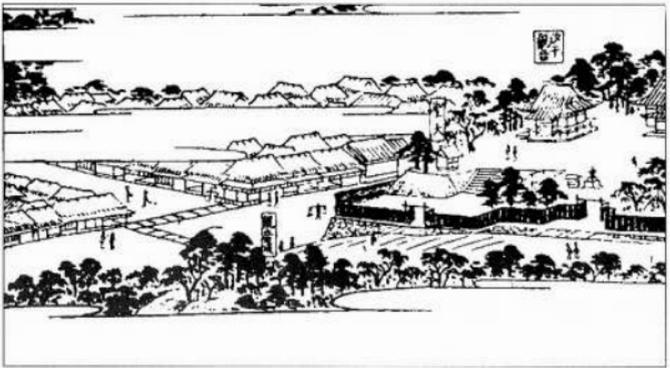
密門会出版部 税込定価 一〇五〇円
※豊富な事例を上げながら観音信仰のポイントを
わかりやすく語る、正しい信仰への手引きです。

交通 J R四ツ谷駅、地下鉄丸の内線、南北線四ツ谷駅より徒歩七分

しおひ 潮千十一面 観世音縁起

東京 四谷

金鶏山 真成院



東京都新宿区若葉2ノ7ノ8
電話 03(3351)7281
FAX 03(5362)7087

東京の四谷、四谷の駅から程遠からぬ新宿通りの左側に、西念寺横丁がある。横丁は落ちついた古い住宅街で、その奥にある浄土宗西念寺のひろい墓地にそって右に曲ると、観音坂という急な坂に出る。長さ四十六間、幅二間一尺と古書にある。

この観音坂は、金鶏山真成院（古くは錦敬山真乗寺とあり）に汐千観音（新編江戸誌によれば塩踏観音）、大聖歡喜天堂があったので古くからこの名がある。いま鉄筋鉄骨コンクリート八階建の堂宇（四谷霊廟併設）となつて、その三階に観音堂に本尊様が祀られて居る。ここは新宿区若葉二丁目七番地になる。昔はこの辺が海岸であり、潮の干満によつて、観音像の台石がしつとり濡れたと記されている。

古書「紫の一本」によれば、潮千観音の像は、越後の村上義清の守り本尊で、義清の歿後その孫村上兵部道崇齋入道が、大阪夏の陣に加わつた後江戸に下り、この寺にかくまわれた縁でここに納められたという。真成院開山、祈禱僧清心法印が道崇齋を厚く庇護したとつたえられている。

天保八年に再建された観音堂と真成院本堂も、昭和二十年五月の空襲で鳥

有に帰した。戦前は境内も広く、四方六千日などの縁日には沢山の人出て賑い、地元荒木町からも数多くの信者がお詣りしたという。

毎月十八日には参詣者が多く、特に正五九の十八日は法要、法話がおこなわれる。また当寺は御府内弘法大師八十八ヶ所第三十九番の札所にもなつてゐる。

「四谷区史」「新宿区史」によれば、旧称四谷寺町（現在若葉二丁目）東は四谷仲町、南は鰹河橋、谷町二丁目に接し、北及び西は南伊賀町に接す。南に傾斜せる丘陵地にして、往時は曠原なり。寛永年間外濠構築のため、半蔵門附近及び麹町辺にありし寺院の替地となる。

明治五年四谷寺町の名をつける。

昭和十九年四谷区若葉二丁目と改称。

現在は癌等難病のかけ込み祈願寺として有名で難病より救われた人は数しれない。織田前住職の著書をおすすめします。『観音開運法』『難病を救う真言密教』『加持の説法』等、密門会出版部（真成院内）より出版されており、